

会 議 録

会議の名称	補助金等見直し検討部会（第25回）
開催日時	平成24年10月30日（火） （午前・ 午後 ）3時00分 開会 （午前・ 午後 ）5時30分 閉会
開催場所	南館8階 中会議室
出席者	<p>【外部委員】 坪内隆、中森孝文、杉田宗三、棟田勝子</p> <p>【検討部会員】 河井企画財政部長、秋元財政課長、小田地域教育振興課長、山寄政策法務課長、大神人権・男女共生課長、上田政策企画課長、北遼市民活動推進課長、原田福祉政策課長、北川障害福祉課長、田川高齢介護課長、岡こども政策課長、徳永商工労政課長、大神農林課長、松本環境政策課長、田邊都市政策課長、西村まちづくり支援課長、乾教育政策課長、前田学校教育推進課長、池田市民学習課長、増田青少年課長、中井スポーツ振興課長、萩原消防総務課長</p> <p>【説明員】 中村人事課長、肥塚人事課研修係長、石津保健医療課長、牧原課長代理、今西市民生活課長</p> <p>【作業部会員】 岩崎財政課係長、青木市民活動推進課長代理、多田人権・男女共生課長代理、岸本福祉政策課係長、成田障害福祉課長代理、村上高齢介護課係長、平野こども政策課長代理、河原商工労政課係長、内田農林課係長、井澤環境政策課主査、馬場都市政策課参事、福田まちづくり支援課長代理、砂金道路交通課係長、阿曾教育政策課主査、上田学校教育推進課主幹、小河地域教育振興課主査、加藤市民学習課係長、小島青少年課長代理、松澤スポーツ振興課係長、中井消防本部総務課参事、野村議会事務局総務課長代理、北川財政課職員</p>
事務局職員	係長1人、係員2人
開催形態	公開（傍聴者1人）
議題(案件)	<p>(1) 補助金等の適正化について</p> <p style="padding-left: 2em;">J 市の事務の代替的な事業を行う団体への補助金（J-07～12）</p> <p style="padding-left: 2em;">K 社会教育関係団体に対する補助金</p> <p style="padding-left: 2em;">L その他の補助金（L-01～08）</p>
配布資料	<p>(1) 補助金等適正化検証シート</p> <p>(2) 追加資料</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
検討部会員	<p>前回に引き続き、補助金等適正化検証シートに基づいて審議する。</p> <p>【議題1 各補助金等の検証】 【J-07 献血推進協議会補助金】</p>
説明員	<資料 補助金等適正化検証シート (J-07) に沿って説明>
外部委員	19 団体が構成員であるが、献血を実施している日本赤十字社との関係は。
説明員	市・府・日本赤十字社からの補助金を使い、うちわやポケットティッシュなどの啓発物品の購入や地区福祉委員会の献血啓発活動に充てている。
外部委員	事業費補助に移行としているが、事業費の内容は何か。
説明員	地区福祉委員会が、献血活動を行う上で必要な啓発物品の購入などの費用にターゲットを絞った補助金にしていきたい。現状は、市・府・日本赤十字社からの補助金が、それぞれどの費用にあたっているのかははっきりしていないので、対象経費を明確にしたいと考えている。
外部委員	現在の補助額は、国の補助金などをもとに算出したものなのか。
説明員	毎年度予算要求の中で決めており、明確な算出基準は無い。
検討部会員	<p>今後は、必要な経費を明らかにして、それを踏まえて決めていきたい。</p> <p>【J-10 観光協会事業補助金】 【J-11 観光協会補助金】</p>
説明員	<資料 補助金等適正化検証シート (J-10・11) に沿って説明>
外部委員	「その他の補助金」の 700 万円は何か。
説明員	茨木商工会議所からの補助金で、事務所の家賃と商工会議所からの出向者 1 人の人件費が充てられている。
外部委員	協会の補助金と事業の補助金を一本化した際には同じような額になるのか。
説明員	額については精査しないと何とも言えないが、運営費補助分の中にも事業

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	として捉えることができる内容のものもあるため、それらを精査した上で新たな補助金として作り変えていきたいと考えている。
外部委員	管理的経費が大きく、特に人件費はどのように見直していくのか。
説明員	平成 21～23 年度は国の緊急雇用の委託により職員 1 名の増員があったため、平成 24 年度は 1 名を減員して約 300 万減っている。人件費については、設立当初から、いずれは観光協会の会費収入、事業収入で賄うことを目標としており、いずれは自立できるように努力を促していきたいと考えている。
外部委員	人件費を賄うために会員を集めるのではなく、会員の満足度を上げるために事業を行い、それによって会員が増えるという考え方をしてほしい。事業目的を見失わず、いろいろなアイデアを出し合いながらやっていただくようお願いする。
説明員	観光協会とアイデアを出し合いながら進めていく。
外部委員	豊中市、摂津市は観光協会がないが、市が直接実施しているのか。
説明員	両市とも観光協会はなく、観光マップの作成等を市が直接実施している。
外部委員	私は、茨木市をもっと P R したらいいと思うので、事業補助が良いのか委託が良いのかわからないが、もっと事業を強化したら良いと思う。
説明員	市が行うべき観光の P R を観光協会にやっていただいている面もあるので委託事業並みに実施している。今後とも、人件費等を精査しながらより効果のある事業を進めていくよう促していく。
	【 J - 08 学校給食会補助金】 【 J - 09 学校保健会交付金】
説明員	<資料 補助金等適正化検証シート (J - 08 ・ 09) に沿って説明>
外部委員	学校給食会は、何を行っているのか。
説明員	学校給食会は、補助金に充てられている部分は献立の作成や研究等に当てられており、その他に補助金が充てられていない事業として、保護者から給食費を徴収して食材購入などを行っている。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部委員	<p>大阪市では、現在、配送については市が負担しているが、将来的に配送費を保護者負担とし、公益認定を受けている学校給食協会にも一般業者と同様に入札に参加させて効率化を図ることを検討している。茨木市では、大阪市と比べて規模が異なるが、学校給食会の独自の収支で行うという発想にはなっていないのか。</p>
説明員	<p>食材の購入については、個々の学校で購入すると高額になるため、学校給食会で一括して購入している。配送については、入札の際に配送料も含めた購入単価で入札を行っている。その部分については、補助金はあっていない。</p>
外部委員	<p>大阪市は、学校給食協会にさらなる経営努力をさせ、補助金も極力出さず、最終的には一般の給食業者との競争も考えているようである。そのような実態を考えると、献立の作成なども補助金の支出に頼らずに、給食費から出す努力をするという発想もあると思うが、事業費補助に移行するという事なので、後は市の判断に任せる。</p>
外部委員	<p>食材は保護者負担であるということは知っていたが、給食の献立や研究のために補助金が出ているということを知り初めて聞いた。給食というものは、全て保護者負担で行われていると思っていたが、補助が別に出ているというのは不思議な感じがする。</p>
説明員	<p>学校給食法では、設置者（市）が人件費や設備に関する部分等を負担し、その他部分、つまり食材費は保護者の負担となっている。全てを保護者からの負担で賄うのは議論のあるところと思う。</p>
外部委員	<p>市が賄うべきである経費であるならば委託費ではないか。しっかり判断してほしい。</p>
議長	<p>今後の方向性として市の直接執行も検討するとしており、ご指摘を踏まえて検討する。</p>
説明員	<p>【 J - 12 文化振興財団補助金 】 <資料 補助金等適正化検証シート（ J - 12 ） に沿って説明 ></p>
外部委員	<p>管理的経費が非常に大きいですが、事業補助への移行はどのように考えている</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	のか。
説明員	チケットの販売やそれまでの運営企画は人手が必要であり、管理的経費とは言っても人件費は必要なものである。しかし、本来であればチケットの売り上げで賄うべきなので、人件費の削減などの努力をしていく。
外部委員	他市に比べて補助金額がかなり多いが、それは文化に力を入れていると見るべきなのか、管理的経費が大きいため赤字の幅が大きいと見るべきなのか。
説明員	市町村によってかなり事情は異なる。吹田市では市民会館の規模が大きく、補助金が無い代わりに指定管理料の3億7000万円で賄っているとか、管理している施設の規模、収容人数も異なることから一概には比較できない。市としては、文化に力を入れていきたいという考えから現在の補助額となっている。
外部委員	チケットの販売等に人手が要るということだが、人件費の単価や市のOBの状況はどうか。
説明員	市の元職員もいるが、報酬の面は安価である。
外部委員	市民から賛助会員を募って、会費を集めることは検討しているのか。
説明員	文化振興財団内でも検討しているところである。
外部委員	文化も重要ではあるが、決して聖域ではなく、効率化を図る、チケットの金額を上げる、販売枚数を増やすなどの目標を掲げて、経営努力をしていくべきである。
説明員	そのようにアドバイスしていく。
説明員	【K-01～20 社会教育関係団体に対する補助金】 <資料 補助金等適正化検証シート (K-01～20) に沿って説明>
外部委員	提案公募型に移すことで、事業者のアイデアを競っていただき、より市民のためになるものになって欲しい。基本的には全て事業補助にするのか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
説明員	今年度から提案公募型補助金を創設し、次年度以降も各方面で新設事業補助金創設が予定されておりますので、公益性のある事業を考えられた場合は手を上げていただきたいと考えている。
外部委員	方向性は良いと思う。なお、一部で再補助をしているものがあるが、その場合はどちらが申請することになるのか整理しておいたほうが良い。
説明員	検討していく。
議長	事業補助化というよりは基本は廃止である。提案公募型とは記載しているが、それはこの制度を使ってはどうかというご案内程度である。文化振興全般についてどんな政策展開をしていくのかは、きっちり抑えていく必要がある。
説明員	<p>【K-21 体育協会補助金】</p> <p><資料 補助金等適正化検証シート (K-21) に沿って説明></p>
外部委員	管理的経費とはアルバイトのことか。
説明員	事務所の使用料とアルバイト1名の人件費などが含まれている。
外部委員	事業費補助になると管理的経費の捻出はどうするのか。
説明員	各連盟団体からの会費、事務職員の配置等を精査しながら考えていく。
外部委員	今の収支から見て、市の補助金が事業費に充てられ、会費収入が管理的経費に充てるようになるのか。
説明員	そう考えている。ただし、現在、管理的経費とされている部分でも事業費のほうがふさわしい経費もあるため、両者とも精査していく。
説明員	<p>【K-22 市長旗争奪茨木市スポーツ少年団競技大会事業補助金】</p> <p><資料 補助金等適正化検証シート (K-22) に沿って説明></p> <p>(質問等なし)</p>
	<p>【K-23 茨木市長杯争奪少年軟式野球大会事業補助金】</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
説明員	<資料 補助金等適正化検証シート (K-23) に沿って説明>
外部委員	いろいろなスポーツがある中で、軟式野球に限って補助金を出していることを初めて知った。スポーツを通じた楽しみや人との連携など、いろいろなスポーツにおいて少年少女のためのスポーツの振興が広がれば良いと思う。
検討部会員	体育協会の補助金は、多くの再補助が行われているが、再補助は有効性があって初めて成り立つものなので、スポーツ関係についても市民が見て有効であるような見直しを行っていききたい。
議長	組織・種目含めて公平性が保たれるものにしていくようお願いしたい。
	【L-01 職場における職員の自主研修補助金】
	【L-02 通信教育講座受講料補助金】
説明員	<資料 補助金等適正化検証シート (L-01・02) に沿って説明>
外部委員	通信教育の半額補助は、達成度はみているのか。
説明員	受講料は受講者の先払いで、合格をもって半額補助している。
外部委員	研修は組織にとって重要なことであるが、補助金のガイドラインでは、市民等の公益性が高い事業に補助をすることになっているので、それに沿っていないのではないかと。補助金でなく、市の本来の人材育成の制度に入れてはどうか。
説明員	担当課で予算をとって実施することもしているが、効率面や制度上、補助金が活用しやすいと考えている。
外部委員	ガイドラインで補助金の定義付けをしているので、その定義から外れた補助金を維持するのではなく、補助金という枠ではなくほかの枠から出してはどうか。
検討部会員	補助金以外の制度で能力開発を行うのも一つの方法で、他市を見ても直接執行しているところもあり研究したい。
外部委員	臨時職員も対象なのか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
説明員	臨時職員も対象としている。
外部委員	職員研修は全ての職場において重要であると思うが、先ほどの例で「待遇」とあったが、このような研修は全員が受けるべきで、補助金ではなく正規の研修で行うべきである。自主研修でどのようなことをしているかわからないので、補助の効果が見えにくい。
説明員	待遇は各階層で体系化された研修の中で全員が受けている。自主研修はあくまで+αの部分であり、この制度に頼っている訳ではない。また、自主研修は、業務で必要と思ったことを自主的に研修しているものであり、効果については、報告書を人事課に提出してもらっている。
外部委員	業務の必要性があるなら、補助金ではなく研修費の中で直接執行するべきではないのか。方向性を再考してはどうか。
議長	研修の必要性についてはご理解いただけていると感じているが、支出の仕方の問題ではないかと思う。この制度は、職員の自発的な意欲を養い、そこに補助を出すという考え方でやってきた。検討部会では補助金の方向性とは違うということなので、すぐにいい方法が見つかるかわからないが、より良い方法を考えていく。
外部委員	研修は必要なこと、当然やらないといけないこと、しっかりと予算化して、仕事のために受けるのは当然という姿勢で実施してほしい。
議長	状況を踏まえ検討する。
説明員	<p style="text-align: center;">【L-03 消費者関係団体補助金】</p> <p><資料 補助金等適正化検証シート (L-03) に沿って説明></p>
外部委員	会員数の125人は、茨木市の規模から見て適正な規模なのか。
説明員	規模としては少ない。また高齢化もしており、横のつながりも弱い部分もあり、若返りが重要と考えている。
外部委員	消費者協会としての活動を行うのであれば一定の規模が必要であり、人数が集まらないのであれば、協会としての存続の意義を問われなければならないと思う。昔からの方が活動しているから存続するのではなく、新しい方が

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
検討部会員	<p>入らない理由を検証して、その上でどうしても必要な団体であれば存続したら良いと思うが、私としては、茨木市の規模であれば少し少ないと思う。</p> <p>今回は事業補助として存続することとしたが、今後、補助を行った後に効果の検証を行っていくので、事業が停滞していて機能していないのであれば、見直しを行っていく。</p>
説明員	<p>【L-04 労働団体事業補助金】 <資料 補助金等適正化検証シート (L-04) に沿って説明></p> <p>(質問等なし)</p>
説明員	<p>【L-05 勤労者互助会交付金】 <資料 補助金等適正化検証シート (L-05) に沿って説明></p>
外部委員	<p>具体的な補助金の使途は何か。</p>
説明員	<p>勤労者互助会の事務は、互助会を通じて商工会議所に委託し担ってもらっている。補助金の使途は、厚生事業に係る掛け金、商工会議所への事務の委託金になっている。したがって管理的経費は無い。</p>
外部委員	<p>商工会議所へ払う分は再補助にはならないのか。</p>
説明員	<p>補助金という認識はない。</p>
外部委員	<p>商工会議所へ委託している分は管理的経費に思える。実際の経費が実態の無い互助会なので非常に難しい面もあるが、事業費と管理的経費を明確にするよう工夫をしてはどうか</p>
説明員	<p>切り分けは難しいが、極力明確にして事業補助であることを説明できるようにしたい。</p>
外部委員	<p>パンフレットをみると商工会議所がやっているように見える。茨木市が実施主体で、500万円出していることをもっとアピールすれば会員数も増えるのではないか。</p>
外部委員	<p>委員がおっしゃるように、商工会議所の色が出すぎると、商工会議所のメ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
説明員	<p>メンバーでないと入れないように見られてしまうかもしれない。商工会議所のメンバーでなくても入れるということを表に出して、加入しやすいようにしてはどうか。</p> <p style="padding-left: 40px;">指摘を踏まえ、パンフレットを作るときなど工夫し、より加入しやすくなるよう努力する</p>
説明員	<p>【L-06～08 交通安全推進団体事業交付金】 <資料 補助金等適正化検証シート（L-06～08）に沿って説明></p>
外部委員	<p>通学路の安全確保は非常に重要な問題である。地域で見守り活動を行っているところからアイデアを募集し、提案内容に対して補助をしていくような制度を作るなど、もっと拡充していったらどうか。</p>
説明員	<p>通学の安全確保はハード面の要請が多く、安全啓発の提案までは受けていない。指摘を踏まえて、アイデアを出していただいた中で補助をしていく方向について考えていきたい。</p>
	以上